

第324号 平成23年9月

東京都農業会議情報

編集及び発行 東京都農業会議

渋谷区代々木2-10-12
TEL 03-3370-7145

会長就任にあたって



波多野会長

会長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、3月11日に発生した東日本大震災は、東北・関東各県に大きな被害をもたらした。さらに福島原発の放射能漏れ事故によって被害が広範に及んでおります。一日も早い復興をお祈りいたします。

農業委員会系統組織は農地の保全と活力ある地域農業の振興に向けて、一丸となつて活動に取り組んでおりますが、その実現には家族経営を主体とする日本農業の現実を直視し、都市および近郊をはじめ中山間・島しょ地域も含め、農業全

東京都農業会議会長 波多野 重雄

体が活き活きと農業を行い、緑輝く農地を継続して保全し続けられるような制度と施策の構築が必要です。

東京農業の発展に向け、我々役員一同、精一杯の努力をして参りますのでよろしくお願いを申し上げます。

(波多野会長は、引き続き全国農業会議所の副会長に就任しました)

常任会議員を紹介いたします

- 清水宏悦(葛飾区) ▼ 岩楯重治(江戸川区) ▼ 川鍋良一郎(青梅市) ▼ 平野正延(あきる野市) ▼ 宮川修(羽村市) ▼ 吉川庄衛(町田市) ▼ 天野武雄(日野市) ▼ 小暮和幸(多摩市) ▼ 小林清秀(府中市) ▼ 肥沼和夫(東村山市) ▼ 榎戸岩男(国分寺市) ▼ 小川昭治(狛江市) ▼ 松村俊夫(清瀬市) ▼ 土屋博(八丈町) ▼ 村野弘一

- (中央会) ▼ 小林辰男(農業共済) ▼ 高橋信茂(信連)
- ▼ 若林政夫(基金協) ▼ 須藤正敏(改良普及協) ▼ 松本義憲(農林振興財団) ▼ 横山健一(全農) ▼ 遊佐和生(全共) ▼ 吉野利明(都議会議議員) ▼ 遠藤衛(都議会議議員) ▼ 臼井孝(市長会)
- ▼ 石塚幸右衛門(町村会) ▼ 波多野重雄(学識経験)
- ▼ 石川清(経営者クラブ)

新役員・監査委員を選出

東京都農業政策に関する建議など決定

第109回東京都農業会議通常総会

都農業会議は8月17日、第109回通常総会を開きました。

東京都の内田農業振興課長が挨拶を述べ、議事に入りました。

議事は、①東京都農業会議6号会議員の選任、②22年度事業報告及び③22年度歳入・歳出決算の承認、④東京都農業政策に関する建議(2面)の4議案を決定したほか、事務局より農政課題を巡る情勢について報告しました。

また、任期満了に伴う役員および監査委員の選挙を行い、次の会議員が就任しました。

決議の実現に向け要請

東京都農業会議

都農業会議はこのほど、東京都の農業施策に関する建議を行いました。

第109回通常総会で決定した「東京都農業政策に関する建議」は、東京都に対し農業者の意欲を後押しするような農業所得確保対策の確立を求める内容となつております。

都市農業に関して、都市農地を守る法律の整備や農用地区域と同等の振興施策の実現を東京都から国へ積極的に働きかけるよう求



総会では建議の決定などがされた



津国都農林水産部長(左)に建議書を手渡す波多野会長(中央)と肥沼副会長(右)

めていきます。対応した都産業労働局の津国保夫農林水産部長は、「農業が産業として成り立つような後押しをしたい」と話しました。

会長 波多野重雄(学識経験・再任) ▼ 副会長 肥沼和夫(東村山市・再任)・村野弘一(JA中央会・再任) ▼ 監査委員 粕谷秀夫(立川市・新任)・前田隆夫(利島村・再任)

東京都農業政策に関する建議要旨

1. 都民の暮らしを守る「農業のある東京」を推進するための支援

(1) 農地を維持し農業経営を確立するための直接支援施策の構築

農家に対し、戸別に農業所得の直接支援を行う施策を構築すること。

(2) 防災に協力する農家への助成

防災に必要な施設や設備の設置および機能維持・改善にかかる経費を助成する施策を構築すること。

(3) 農畜産物の安全性の確保と適切な情報提供

福島第一原発事故の発生に伴う都内産農産物の放射性物質検査については、都が責任を持って実施すること。

2. 都市農業に対する保全施策の確立

都市地域の農業・農地に対して農用地区域と同等の農業振興施策を実現するよう、国に強く要請すること。さらに相続税納税猶予制度および生産緑地法については農業の継続がさらに円滑となるよう所定の見直しを行ったうえで基本を堅持す

るよう国に強く働きかけること。

3. 農産物価格の安定・向上とコスト低減に向けた支援施策の構築

(1) 農産物価格の向上に向けたPR施策の創設

再生産可能な農産物価格が実現するよう、東京農業の実態やその生産物の魅力

を都民や実需者に知らせるためのメディア戦略を含めた施策を創設すること。

(2) 「東京エコファーマー制度」(仮)の創設

(3) 特定の資材等に対する支援

特定の農業技術の導入に伴う資材および、販売にかかるロゴマーク入り包装資材等の費用を援助する施策を創設すること。

4. 補助事業の対象拡大

(1) 事業実施主体の範囲の拡大

補助事業の実施主体を認定業者等一定の要件を満たす経営について個別経営を対象とするなど、要件を緩和すること。

(2) 対象事業の拡大

補助事業について、農家が持つ既存の施設や機械を

一部活用し、その改善を図る計画も対象とするなど対象となる事業を拡大すること。

5. 農畜産物の販売ルートの拡大

(1) 共同直売所の整備・充実

(2) 農地が無い地域への農産物販売ルートの創設

(3) 畜産物アンテナショップの整備

6. 労働力不足への対策

区市町村や農業団体、NPO法人等が取り組むヘルパーやボランティアの育成・派遣といった事業を支援する施策を確立すること。

7. 生産規模の維持・拡大を図る経営に対する支援の強化

規模拡大を図る農業経営に対し、農地確保に関する支援体制を強化すること。

8. 農業経営や生産技術の確立に向けた支援

(1) 新しい作目や技術の導入に対する支援

(2) 農業経営の将来像の確立

9. 島しょ地域における安定した農業経営の確立に向けた支援

島しょ地域において安定した農業経営が確立できるよう、生産基盤の整備をさらに進めること。

常任会議員会議だより

第5回常任会議員会議

平成23年8月17日に開催

し状況は次のとおり。

議事

① 議席を決定した。

② 農地法の規定に基づく知事諮問は、5条5件

1038・87㎡について審議し、許可相当と答申する旨決定した。(4条諮問はなし)

第6回常任会議員会議

平成23年9月16日に開催し状況は次のとおり。

議事

農地法の規定に基づく知事諮問は、4条1件52㎡、

5条4件1489㎡について審議し、許可相当と答申する旨決定した。

協議

① 平成24年度東京都農業

会議事業・予算の構想について協議し、10月7日開催の区市町村賛助員協議会に提出することとした。

② 下期農業委員会活動の推進について協議し、引き続き連携をはかりながら積極的に取り組むこととした。

③ 農業委員会活動推進

フォーラム開催要領(案)

について、11月22日(火)

に「意欲ある農業経営者を

支援し、東京の農地保全に

向け」をテーマに、府中市

生涯学習センターで開催す

ることを決定した。

また関係機関に多数の参加をお願いすることとした。

当面の農政問題は、①「平成22年度東京都農作物生産

状況調査の結果」および「平成23年度東京都の地域・区市町村別農業指標」について報告した。

本調査については、農業振興の基本となる資料として活用するとともに、引き続き調査への協力を農業委員会および関係機関に願

いすることとした。

② 認定農業者等担い手対策の推進をはかるため、認定農業者制度のしくみと状況、農委会とのかかわりと

活動、区市町村の独自支援

施策について説明した。

今後の国の動向などに注

視するとともに、引き続き

関係機関と協力しながら取

第21期農業委員統一選挙後の農業委員会の体制等に関する状況について

区市町村	農業委員 総数	兼 務	農業委員の状況について															平成23年9月1日現在		
			ア 選挙委員		イ 選任委員									ウ 女性・認定農業者の農業委員数				エ 新任委員		
			定数	実数	選任委員 総数	(ア) 団体推薦			(イ) 議会推薦			(ア) 女性委員		(イ) 認定農業者		今回の改選で 新たに選出され た選挙委員				
						委員数 (団体)	推薦主体ごとの委員数		委員数 (議会)	構 成		うち 選挙 委員	うち 選任 委員	うち 選挙 委員	うち 選任 委員					
			農協	農業共 済組合	土地改 良		議会議員	その他												
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
世田谷区	20	農協・共済	15	15	6	3	2	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	15	
杉並区	14		12	12	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
板橋区	12		8	8	4	2	1	1	0	2	2	0	1	0	1	0	0	0	2	
練馬区	20		15	15	5	2	1	1	0	3	3	0	2	0	2	0	0	0	6	
足立区	12		10	10	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	5	5	0	3	
葛飾区	12		8	8	4	2	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
江戸川区	16	選挙・共済	12	12	5	2	1	1	0	3	3	0	0	0	0	2	2	0	1	
青梅市	19	選挙・共済	15	15	5	2	1	1	0	3	3	0	0	0	0	8	7	1	5	
福生市	7		5	5	2	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	2	
あきる野市	17	選挙・共済	15	15	3	2	1	1	0	1	0	1	0	0	0	6	6	0	5	
羽村市	9	議会・共済	7	7	3	2	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
瑞穂町	15	選挙・共済	12	12	4	2	1	1	0	2	0	2	0	0	0	6	3	3	9	
日の出町	15	選挙・共済	12	12	4	2	1	1	0	2	1	1	0	0	0	3	1	2		
奥多摩町	7	議会・共済	4	4	4	2	1	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0		
八王子市	22		16	16	6	2	1	1	0	4	3	1	1	0	1	5	3	2		
町田市	20		15	15	5	2	1	1	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0		
日野市	17	選挙・共済	11	11	7	3	1	1	1	4	2	2	1	0	1	5	4	1		
多摩市	13	選挙・共済	10	10	4	2	1	1	0	2	2	0	2	0	2	2	2	0	4	
稲城市	11	議会・共済	8	8	4	2	1	1	0	2	1	1	0	0	0	5	3	2	5	
立川市	20	選挙・共済	15	15	6	2	1	1	0	4	2	2	0	0	0	9	8	1	11	
武蔵野市	15		9	9	6	2	1	1	0	4	4	0	2	0	2	4	4	0	4	
三鷹市	20		15	15	5	2	1	1	0	3	3	0	0	0	0	6	5	1	11	
府中市	20		13	13	7	3	1	1	1	4	3	1	0	0	0	10	7	3	5	
昭島市	13	選挙・共済	10	10	4	2	1	1	0	2	2	0	0	0	0	6	5	1	3	
調布市	21		15	15	6	2	1	1	0	4	4	0	1	0	1	2	2	0		
小金井市	16		10	10	6	2	1	1	0	4	4	0	0	0	0	4	2	2	6	
小平市	16		10	10	6	2	1	1	0	4	4	0	1	0	1	9	7	2	10	
東村山市	16		10	10	6	2	1	1	0	4	2	2	0	0	0	1	0	1	7	
国分寺市	15		10	10	5	2	1	1	0	3	0	3	1	0	1	3	2	1	9	
国立市	11		6	6	5	3	1	1	1	2	1	1	1	0	1	0	0	0	3	
西東京市	20		14	14	6	3	2	1	0	3	3	0	0	0	0	6	2	4		
狛江市	11		9	9	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	
武蔵村山市	14		10	10	4	2	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	9	
東大和市	16		11	11	5	1	1	0	0	4	4	0	1	0	1	4	3	1	5	
清瀬市	14		10	10	4	2	1	1	0	2	1	1	0	0	0	8	6	2	6	
東久留米市	16		12	12	4	2	1	1	0	2	2	0	0	0	0	5	3	2	11	
大島町	13		12	10	3	2	1	1	0	1	0	1	1	0	1	7	6	1		
利島村	7		5	5	2	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0		
新島村	12	選挙・共済	10	9	4	2	1	1	0	2	1	1	3	2	1	4	3	1		
神津島村	12		10	8	4	2	1	1	0	2	2	0	3	3	0	5	4	1	3	
三宅村	7		5	4	3	1	1	0	0	2	0	2	0	0	0	3	1	2		
御蔵島村	7		5	5	2	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	3	
八丈町	14	選挙・共済	10	9	6	2	1	1	0	4	0	4	0	0	0	14	8	6		
青ヶ島村	7		10	6	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	
小笠原村	9		10	7	2	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	3	3	0		
合 計	640		476	462	193	83	45	35	3	110	75	35	27	8	19	161	117	44	178	

※ 選挙委員と選任委員を兼務している者が認定農業者の場合は、選挙委員の認定農業者としてカウント

※選挙委員と選任委員を兼務している者が認定農業者の場合は、選挙委員の認定農業者としてカウント

東京都内農業委員会のお会長・職務代理者・事務局長

9月30日現在 (敬称略)

区市町村名	会 長	職務代理者	事務局長	総会日 (毎月)
世田谷区	高橋 昌規	城田 恒良	齋藤 幸夫	20日前後
杉並区	井口 喜一	内藤 松幸	安尾 幸治	24日
板橋区	田中 將浩	榎本 藤二	浅井 浩	25日
練馬区	篠田 一雄	田中 文雄	宮下 泰昌	10日頃
		加藤 和雄		
足立区	大熊 久三郎	荒堀 安行	杉岡 淳子	第2火曜日
葛飾区	清水 宏悦	穂戸 田弘悦	森本 宏	20日
江戸川区	岩楯 重治	眞利 子隆	千葉 孝	24日
青梅市	川鍋 良一郎	伊藤 巖	高野 佳弘	25日
福生市	村野 和男	笹本 和美	川野 治男	25日
あきる野市	平野 正延	大福 保男	高橋 勇	25日
羽村市	宮川 修	田村 銅	粕谷 昇司	25日
瑞穂町	久保 田晴利	上野 勝	栗原 始	23日
日の出町	宮田 昇	青木 毅	山田 時夫	25日
奥多摩町	濱野 芳男	島崎 友一	加藤 博士	25日
八王子市	和田 昌明	井上 訓一	小林 隆宣	月末
町田市	吉川 庄衛	横田 文雄	西村 正明	25日
日野市	天野 武雄	鈴木 勘七	長谷川 誠	第2水曜日
多摩市	小暮 和幸	加藤 成男	鈴木 誠	毎月下旬
稲城市	松本 一宏	川島 源之	石田 昭男	10日頃
立川市	粕谷 秀夫	滝島 栄次	遠藤 幸男	24日前後
武蔵野市	井口 良美	榎本 一宏	大杉 洋	25日
三鷹市	岡田 源治	吉野 明義	板橋 久夫	20日
府中市	小林 清秀	古川 敏雄	八木 幹夫	毎月下旬
		内藤 芳昭		
昭島市	清水 巖	中野 久史	野地 明良	14日
調布市	杉崎 一三六	新井 富一	遠藤 弘行	不定期
小金井市	鈴木 義平	高橋 金一	當麻 光弘	20日
		鶴切 博義		
小平市	高橋 清一	竹内 繁義	竹内 誠一郎	20日
東村山市	肥沼 和夫	金子 一男	當間 春男	25日
国分寺市	榎戸 岩男	小坂 良夫	尾又 秀樹	20日
国立市	沼崎 信夫	柳澤 一彦	久保田 誠二	24日頃
西東京市	村田 秀夫	保谷 隆司	宮坂 哲史	20日
狛江市	小川 昭治	久野 俊明	上田 博記	20日
武蔵村山市	高山 充則	山田 和男	峯尾 正彦	15日
東大和市	中村 勝司	宮崎 晃	中村 修	第4木曜日
清瀬市	松村 俊夫	田中 一男	中里 清志	20日
東久留米市	遠藤 清美	村野 一夫	道辻 正信	25日
大島町	中村 富長	五味 富榮	向山 正弘	24日
利島村	前田 隆夫	井上 吉夫	小蔦 保志	不定期
新島村	大沼 光吉	横田 泰一	青沼 重和	毎月下旬
神津島村	浜川 浩	中村 隆儀	清水 豊	毎月下旬の火曜日
三宅村	大年 健士	沖山 勝郎	高松 市郎	20日過ぎの木曜日
御蔵島村	広瀬 信郎	広瀬 豊彦	西川 雄市	不定期
八丈町	土屋 博	山下 譽	奥山 拓	25日
青ヶ島村	菊池 松太郎	山田 英三郎	吉田 昌信	毎年8月
小笠原村	早川 保	笹本 好幸	渋谷 正昭	不定期

農業委員統一改選

都内33区市町村農業委員会で改選

認定農業者の農業委員が161人に

任期満了に伴う第21回農業委員統一選挙が、本年7月に実施されました。

都内では、9月改選のあきる野市農業委員会を含めると、33区市町村で改選となりました。

平成23年9月1日現在の都内農業委員会の体制の状況については、3面のとおりとなっています。

また、農業委員長・職務代理者名・事務局長名(9月30日現在)は、4面に掲載しています。

前回の20回(期)農業委員統一選挙後の都内の状況との比較を報告します。

【農業委員数】

農業委員の実数は、第20回統一選挙後の状況と比較すると4人の減少(定数の変更はなし)となっており、選挙委員が6人の減少、選任委員が2人の増加となっています。

【認定農業者】

①全農業委員のうち認定農業者が占める割合は、24.9%となっており、前回(20期)の23.2%より、約1.5%増加し、認定農業者のある農業委員会数は31区市町村で、前回(20期)より7区市町村

増加しています。

【女性農業委員】

女性農業委員数は、計27人で(4.2%)、前回(20期)の38人(5.9%)より11人(1.7%)の減少となりました。一方、女性農業委員のある農業委員会数は19区市町村で、前回(20期)より1市の減少となりました。

東京都への要請と意見交換を実施

東京都農業経営者クラブ(石川清会長)はこのほど、東京都への要請を行いました。

役員らが東京都農林水産部の内田農業振興課長に面会をし、6月の総会で決定した「東京農業の確立に関する要望」を手渡し実現を要望しました。

さらに、都農林水産部の各課の課長や担当者らと交えて意見交換を行いました。

クラブ役員からは「安全・安心な農業生産に対する努力が報われるような支援を」といった要望や、「都民を巻き込んだ農業を

新任農業委員を対象に研修会を開く

東京都農業会議

都農業会議は、本年7月の農業委員統一改選において新たに就任した農業委員を対象とした新任農業委員研修会を、8月9日(対象Ⅱ区内・北多摩)に府中市で、9月5日(対象Ⅲ西多摩・南多摩)に、南新宿ビルで開催しました。

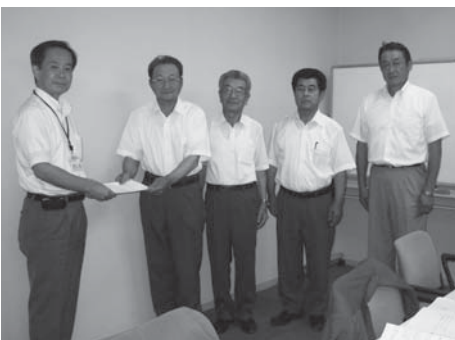
研修は、両会場あわせて300人ほどが参加し、農地と農政を巡る情勢報告のほ

か、東京都内の農業関係データによる状況の解説、また、農業委員会法と農業委員会の役割、農地制度の概要などを説明しました。

東京都農業経営者クラブ

展開していきたい」といった意見が出されました。

これに対し、内田農業振興課長は「皆さんの努力やチャレンジを後押ししたい」と応えました。



内田課長(左)に要望書を手渡し実現を要請

広報研究会開く

農業委員が広報づくりを研究

都農業会議はこのほど、農業委員会だよりの発行に携わる農業委員や農業委員会職員を対象に広報研究会を開きました。

研修では、全国農業会議所新聞編集部の高次長を講師に迎え、農業委員会広報誌の取材・執筆・編集の基礎についての講習が行われました。

さらに、各農業委員会が発行している農業委員会だよりの紹介や事例発表、また全国農業新聞の普及推進について協議しました。



研修では農業委員の役割などについて説明

都心での緑づくり・マルシェの取り組みを研究

アグリタウン研究会が現地研究を実施

アグリタウン研究会(後藤光蔵座長)は、このたび、株式会社森ビルが港区のアークヒルズと六本木ヒルズで取り組んでいる緑や農的空間の創出について研究する現地見学会を開きました。

森ビルの担当者に案内を受け、ガーデニングを通じて緑に親しむヒルズガーデンングクラブという市民参加型のコミュニティや、日本各地の農家が出店する朝



都心での農的空間の創出への取り組みなどについて説明を受ける

永年勤続会員表彰・講演会開く

東京都農業委員会職員研究会

東京都農業委員会職員研究会(鈴木誠会長)は、8月26日に、全体研究集会を南新宿ビルにて開きました。はじめに、第37回永年勤続表彰を行い、会員9名が表彰されました。(写真)

清瀬市ひまわりフェスティバルを開く

清瀬市と清瀬市農ある風景を守る会は8月20日〜31日にかけて、清瀬市ひまわりフェスティバルを開き、約3万7千人の来場者が訪れました。



多くの来場者をむかえたひまわり畑

同市内の石井ファームが小麦収穫後の2ヘクタールの畑に緑肥としてひまわりを栽培し、市民に真夏の思い出をつくらせてもらおうと、毎年この満開期に開放しています。

東京都農業委員会職員研究会

表彰に引き続き、環境ジャーナリスト・日本大学生物資源科学部講師の小澤祥司氏を迎え「福島第一原発事故と『ホットスポット』飯館村の苦悩」をテーマに講演会を開きました。

小澤氏は、まず原子力の仕組みや放射能物質について解説をし「飯館村の放射線物質のレベルは甚大。農地全部の除染は経費や期間を考えると現実的ではない」などと飯館村の現状を話しました。表彰者は左記の9名です。

- 中島 静樹(羽村市)
- 大澤 章良(八王子市)
- 峰尾 真(八王子市)

- 小野寺 努(調布市)
- 當間 春男(東村山市)
- 小俣已知雄(東村山市)
- 水木 一江(東村山市)
- 進藤 博(武蔵村山市)
- 前田 裕(利島村)

(敬称略)



藤井副会長(左より)表彰を受ける羽村市の中村静樹さん(右)

「食と農セミナー」を開きます

東京都農業経営者クラブと都農業会議は、東京都消費者月間実行委員会と共催し「食と農セミナー」を開きます。

東京の農業者と消費者が直接顔を合わせ、ともに学ぶことを通して新たな関係を築く場にするのが目的です。

多くの方のご参加をお待ちしています。

▼日時

平成23年12月9日(金)、午後2時より

▼会場

中野区・中野サンプラザ

13階コスモルーム

▼主な内容

①中村靖彦氏(農政ジャーナリスト)の講演「日本の食糧が危ない! 農業者と消費者がともに歩む道」と意見交換会

都市における農地の役割などをPR

第5回都市農地保全自治体フォーラム

都市農地保全推進自治体協議会(会長 志村豊志郎練馬区長)は、このたび、都庁において第5回都市農地保全自治体フォーラムを開き、都民など約460人が参加しました。

親子農業体験を実施

東久留米市農業経営者クラブ

東久留米市農業経営者クラブ(篠宮政樹会長)は9月11日に、同市の篠宮バラ園にて「親子農業体験」を開きました。

親子12組24名が参加をし、参加者は「地道な作業を通して素敵な花が咲くんだな」と感想を話していました。



バラの接ぎ木に挑戦する参加者



都市農業の多面的機能などをテーマにしたパネルディスカッションでは活発な意見交換がされた

10〜11月の日程

10・24	(月)	職代・部会長研
10・27	(木)	農委会会長
10・28	(金)	現地研究会
11・10	(木)	女性農業委員
11・18	(金)	職員研修会
11・22	(火)	監査会/第8
11・22	(火)	回常任会議
11・29	(火)	農委会活動推
11・30	(水)	進フォーラム
11・30	(水)	農業者年金制
11・30	(水)	度推進

◇地区別職員検討会◇

11・30 (水) 島しょ地区